新たな加工技術を活用した 福山特産「あんずスイーツ」の開発展開

当社が福山産「あんず」のドライフルーツ加工技術の開発による、ご当地ブランドとしてのスイーツ商品開発・販売促進及び量産体制の確立を実現したことで、品質改善・収穫量向上などの生産者支援を行い、6次産業化の促進と高付加価値化を図った。

福山産あんずの加工製品

PURPOSE
事業目的

地元特産あんずのドライフルーツ化技術により、商品化が困難であった水分を嫌う商品（サブレ、クッキー、バターサンド等）への「福山らしい」商品開発・展開を可能とすること。また、地元産食材の有効活用を実現することにより、生産➡加工➡特産品販売の好循環型社会の構築・発展に貢献すること。

MOTIVES
商品開発のきっかけ

「あんず」は「福山ブランド農産品24品」に指定されており、地元では広く生産されている。当社も自社農園を約1000坪保有し、農協からの購入分と合わせて、自社工場での加工・販売を行っている。あんずは収穫後の追熟が早い為、当日加工での「シロップ漬け」や「ピューレ化後の冷凍」などで課題解決を計ってきたが、既存設備では間に合わない為、腐敗など一部原料の無駄が発生していた。あんず特有の味覚や食感を損なわず、賞味期限延長可能な高付加価値商品の開発及び、実現する為の新設備導入と新加工技術の開発が喫緊の課題であった。

TARGET
事業の目標

あんず原料をドライフルーツ化（果実から水分を抜き取る）することにより、新たな商品展開が可能になり、且つ、地域の未加工、未使用のあんずの有効活用と高付加価値化を実現する。

- あんずの形状を残したまま、酸味と甘さが強調された歯ごたえのある、従来品とは異なる特徴の製品開発。且つ、より長い賞味期限の保証。
- 地元特産品としての開発により、生産者の収穫量、品質向上など活性化をはかり、6次産業化を促進し、里山保全や雇用機会創出に貢献。
- 8割以上の完熟度で加工・出荷が可能となる。

DETAIL&POINT
取り組みの内容

技術的課題をテスト加工で抽出し、解決策を模索、その後、季節に応じた、原料のドライフルーツ化試作や実際の和菓子の製品試作を行い、量産・市場導入に向けて、自社直営店でのマーケティングも実施した。

- 乾燥では、果実の硬さ、水分の抜け具合等での限界が判明した。
- ラックオーブン装置の導入により大量に均一に焼成が可能となり、色抜けがなく、食味が劣化しない高品質な加工が可能となった。
- 全生産工程は手作業たった為、コスト高、生地の定量分割も不安定であったが、整列機、充填機、分割機や特殊ノズルの導入で、量産体制の確立と商品デザイン性の向上が実現できた。

開発した商品：あんずの散歩道

RESULT
事業の成果

- 高度なドライ加工が可能な大型ラックオーブンは、加熱温度と時間調整が容易であり、一度に大量の焼成が可能となった。
- 既存製菓機械にサンド生地の定量分割装置の連結により、従来3600個/時間に対して生産力200%アップ。
- 整列機の導入により、処理能力200%アップ。
- 充填機により作業の高速化、均一化が可能となった。1800個/時間の生産能力となり、従来比800%アップ
- 特殊ノズルにより、ワイヤースライサーでの製品分割が可能となり、平面分割が可能となった。

KEY POINT
ココがポイント!

大型ラックオーブン等の導入により、地元産「あんず」の高付加価値商品化と量産化が可能となり、地域6次化産業促進へも貢献できた。

導入した大型ラックオーブン

導入した整列機

PROSPECT
今後の展望

- 新設備導入により量産化と自動化が実現でき、現在の人員のままでも、製造能力の倍増が見込めるだけでなく、大幅な利益率改善も可能となる。
- 販売チャネルも、6直営店と福山駅や広島駅の「エキナカ店」への進出、また、銀座の広島県アンテナショップ「TAU」やホテル/旅館、高速道路のSA,空港、通信販売などへの積極的な拡販を図る。
- 地元産素材・食材のあんずドライ化技術の開発により、生産者活性化➡福山らしい菓子の製造、販売強化➡福山ブランド商品の好循環を創造・発信する。

～更なる成長へ向けて～

瀬戸内地域では多種多様な農作物が生産されており、当社は伝統的な高級和菓子ギフトの製造販売以外にも、小ロットの農産物加工を軸とした様々な和洋菓子スイーツ開発に注力しています。近年ではOEM生産も開始し瀬戸内地域の産品を取り扱う市場に対し、素材力などを活かした高付加価値の商品提案をさせていただきます。

CORPORATE DATE
事業者概要

有限会社
勉強堂

住所：広島県福山市熊野町乙1151-2
電話番号：084-959-0025
URL：http://www.ben-kyou-dou.co.jp

代表者名：門田 治己
設　　立：1993年1月
資 本 金：1,000万円
従 業 員：45人
事業内容：食料品製造業

代表取締役
門田 治己